

2010年度第2四半期（4－9月）決算の概要

1. 経営成績

- (1) 売上高は、需要の回復による販売数量の大幅な増加により、連結で前年同期比21.5%増の673億円と好調に推移しました。
- (2) 利益面では、世界的に需要拡大を続ける高吸水性樹脂をはじめ、各セグメントで売上高が大幅に増加し、連結経常利益では前年同期比約2.6倍の56億円となりました。
- (3) 中間配当は、前期末配当と同じ1株当たり7円50銭とさせていただきます。

(単位：億円)

	連 結			単 体		
	2009年 第2四半期累計	2010年 第2四半期累計	伸び率(%)	2009年 第2四半期累計	2010年 第2四半期累計	伸び率(%)
売上高	554	673	21.5	385	465	20.8
営業利益	22	52	131.9	9	27	191.2
経常利益	22	56	157.1	17	37	125.6
当期純利益	9	32	268.4	12	27	125.5

2. 分野別連結売上高

(単位：億円)

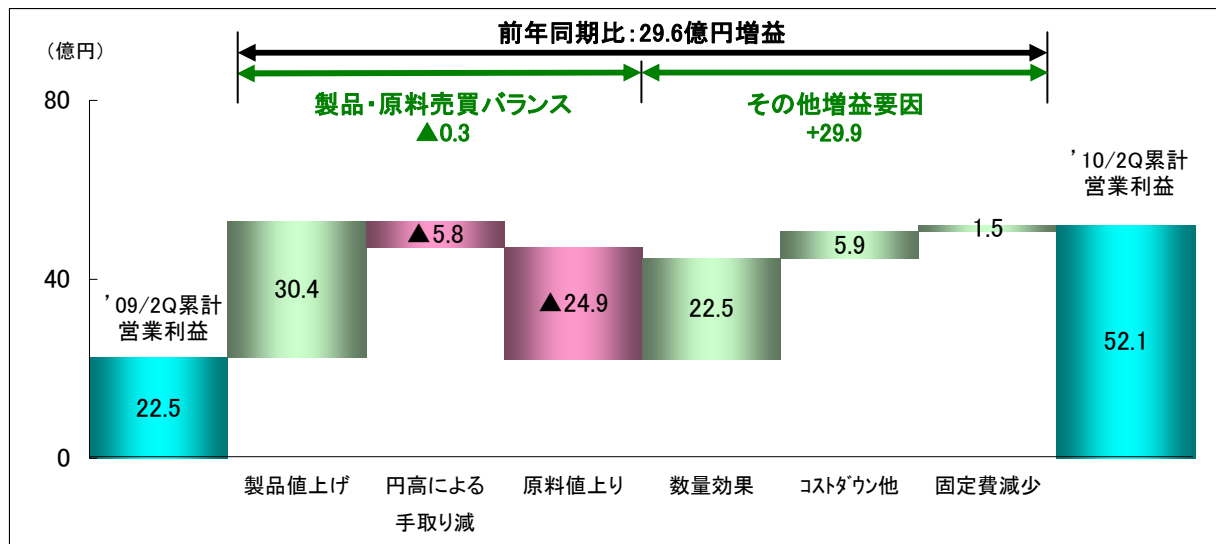
	2009年第2四半期累計		2010年第2四半期累計		前年同期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	213	38.5	241	35.9	29	13.5
機械・輸送機産業関連	116	21.0	152	22.6	36	31.0
プラスチック・繊維産業関連	72	13.0	90	13.4	18	24.8
情報・電気電子産業関連	84	15.2	111	16.6	27	32.5
環境・住設関連、その他	68	12.3	77	11.5	9	13.3
合 計	554	100.0	673	100.0	119	21.5

3. 分野別連結営業利益

(単位：億円)

	2009年 第2四半期累計	2010年 第2四半期累計	前年同期比 増減
生活・健康産業関連	16.8	24.1	7.3
機械・輸送機産業関連	△ 1.6	5.0	6.6
プラスチック・繊維産業関連	5.1	10.6	5.5
情報・電気電子産業関連	4.1	11.2	7.1
環境・住設関連、その他	△ 2.0	1.1	3.1
合 計	22.5	52.1	29.6

4. 連結営業利益の増減分析（前年同期比）



5. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当性向 (連結) %
	中間 円 銭	期末 円 銭	年間 円 銭	
2008年度	7.50	5.50	13.00	—
2009年度	5.50	7.50	13.00	56.4
2010年度 (予想)	7.50	7.50	15.00	29.0

6. 2010年度業績予想

第2四半期（4－9月）業績が7月26日の発表値を上回り、10－3月も円高等の懸念材料はあるものの、需要が堅調に推移すると想定されるため、年間業績予想を下表の通り上方修正しました。

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
		億円	億円	億円	億円	円 銭
連 結	修正前	1,330	86	90	51	46.23
	修正後	1,350	94	100	57	51.67
単 体	修正前	920	46	66	45	40.79
	修正後	930	47	67	46	41.70

〈業績予想の前提条件〉 為替レート：85円/\$、国産ナフサ価格：4万5千円/KL

7. トピックス

(1) 三大雅精細化学品（南通）有限公司での増設

当社の連結子会社であるサンダイヤポリマー株式会社（当社60%、三菱化学株式会社40%）が、高吸水性樹脂の需要増に対応するため、同社の100%出資による中国現地法人「三大雅精細化学品（南通）有限公司」（以下SDN）で生産能力を倍増することを決定し、順調に建設中であります。今回の増設は7万トンで、既存の生産設備と合わせてSDNの生産能力は、年間13.5万トンとなります。今年6月に着工、来年7月に稼働の予定で、設備投資額は約43億円を予定しています。

(2) 衣浦工場でAOA生産設備の稼働

自動車シートクッションに使われるポリウレタンフォーム用原料などの需要回復に対応し、衣浦工場（愛知県半田市）において今年10月からアルキレンオキシド付加重合物（AOA）製品の生産を開始しました。同設備の生産能力は年間3.6万トンで、当社グループのAOA関連製品の生産能力は合計で年間約20万トンになります。

以 上